

## 第 53 回全国大会反省検討会の開催結果について

第 53 回大会実行委員会

平成 29 年 9 月 10 日(日) 東京霞が関「東海大学校友会館」において、三代宗家大塚博紀最高師範 ご出席のもと、第 53 回全国大会の反省検討会が開催されました。

主な検討項目は、

- 審判部の充実と各審判のレベルアップ
- 熟練の部と壮年の部の取扱いについて
- 監督、大会係員の服装等について
- 入場整理について
- 表彰式について

でありましたが、出席した実行委員の先生方から活発な意見が出され、来年開催の全国大会にむけ、まずは第一歩を踏み出すことができました。

この中で、入場整理については、

**せっかく早くから並んで席を確保しようとしていたのに、開場と同時に入館したら、すでに会場内には荷物が置かれていて座席が確保されている状況があった。不公平ではないか？**

**また、東京武道館玄関前での入場待ちの選手、父兄等が膨らんでおり大混雑であった。早くから整列させるべきではないか？**

という意見が寄せられたことにより、検討項目に加えたものです。

本件については、お手伝いをいただく係員の方は入館後すぐに「アリーナ内集合」をかけるため、当初、荷物を手元において説明会をしていたところ「自分たちの観覧場所が確保できなかった」という不都合が生じたため、現在は大会本部として黙認している状況にあります。

我が子の応援を我慢して、コート係等のお手伝いをいただいているという事情などをご斟酌いただき、ある程度の不公平感は我慢していただければと思います。

また、入場時の整列についても、係員の確保に窮している状況にかんがみ、各支部長、指導者の方々が積極的に号令をかけ、整列しての入場待ちをリードしていただければ幸いです。同じ大会に参加する和道流の門下生同士ですから、何ら問題は生じないことと思います。

次に表彰式についてですが、  
**表彰式に残る人数が増えた半面、表彰式の時間が長くなり低学年の子供たちの負担になってはいないだろうか？**  
という声が寄せられました。

確かに、表彰式が少し長いかなという感もありました。しかし、入賞者の呼び出し等に工夫・改善の余地も残っており、この点は改善していきますが、一方で、ある程度の我慢を覚えさせることも、武道を志す者の心得として必要なことと思います。  
指導者各位には、この点のご理解をお願いします。

検討結果は以上ですが、次回大会もさらに盛況な大会となるようご協力をお願いいたします。

最後に、来年の第54回大会は、8月25日(土)、26日(日)の両日、東京武道館において開催することが決定しましたので、併せてお知らせいたします。

文章責任者 和道流空手道連盟事務局長

